

平成 2 7 年度

事 業 報 告 書

(自) 平成 2 7 年 4 月 1 日

(至) 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成 2 7 年度事業概要	1
I. 法人運営部門	2
1 役員会開催状況	
2 評議員会開催状況	
3 監査状況	
4 苦情の受付及び解決状況	
II. 地域福祉活動推進部門	3
1 民生委員・児童委員活動支援事業	
2 地域福祉活動計画策定事業	
3 ボランティアセンター事業	
4 小地域ネットワーク活動	
5 福祉教育・啓発活動	
6 地域子育て支援センター事業	
7 各種福祉団体支援事業	
8 共同募金配分金事業	
III. 福祉サービス利用支援部門	2 3
1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	
2 法人後見事業	
3 生活福祉資金貸付事業	
4 福祉資金（小口）貸付事業	
5 移送サービス事業	
6 放課後児童クラブ事業	
7 住民の福祉活動の推進・支援	
8 富士町コミュニティバス運行事業	
9 三瀬地域巡回バス運営事業	
1 0 流水浴機器等管理運営事業	
1 1 老人福祉センター等運営事業	
1 2 松梅児童館運営事業	
1 3 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業	
1 4 佐賀市産業振興会館管理事業	
1 5 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業	
1 6 佐賀市久保田総合センター管理事業	
IV. 在宅福祉サービス部門	3 0
1 居宅介護支援事業	
2 訪問介護事業	
3 通所介護事業	
4 身体障がい者居宅介護支援事業	
V. その他の事業	3 1
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

平成２７年度事業概要

今、地域社会には、貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ホームレス、ニートなど、既存の社会保障・社会福祉ではなかなか解決に至らない課題が山積し顕在化しています。

また、家庭の様相も変化し、少子・高齢化の進行や生活様式の変化に伴って、地域コミュニティの仕組みが脆弱化して、地域における生活課題の深刻化・複雑化に対応できなくなってきました。

しかし、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命とする社会福祉協議会は、こうした今日的な地域福祉の課題を受け止め、その解決に向けた取り組みを図ることが強く求められています。

平成２７年度佐賀市社会福祉協議会では、地域福祉の推進を図ることを目的とする中核的団体として、「第三期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を市と一体的に策定し、基本理念「**みんなが参加、みんなで福祉、みんなの安心、笑顔が輝く佐賀のまち**」として、基本目標を①みんなの主体的な活動を促す環境づくり ②地域で安心安全な暮らしを支える体制づくり ③福祉サービスを利用しやすい仕組みづくりと決めました。

更に、新たな地域福祉の課題に向き合い、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援や解決につなげ、誰もが安心して暮らすことができる地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組みを進めました。

※各項目の金額は事業支出額、〔P. 〕は資金収支決算書の該当するページを表しています。

※共同募金の配分金充当事業については【共募配分】、歳末たすけあい配分金充当事業については【歳末配分】と表記しています。

I. 法人運営部門 (235,831,784 円) [P.5]

1 役員会開催状況 (204,000 円) [P.5]

- (1) 第1回理事会 平成27年5月27日 (出席11名 欠席1名 欠員1名)
 - 第1号議案 平成26年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第2号議案 評議員の選任について
 - 第3号議案 苦情解決第三者委員の選任について
- (2) 第2回理事会 平成27年7月1日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 会長の選任について
 - 第2号議案 副会長の選任について
- (3) 第3回理事会 平成27年9月30日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 平成27年度第1回資金収支補正予算について
- (4) 第4回理事会 平成27年12月25日 (出席11名 欠席2名)
 - 第1号議案 平成27年度第2回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 特定個人情報取扱規程の制定について
- (5) 第5回理事会 平成28年3月28日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 平成27年度第3回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 平成28年度事業計画並びに資金収支予算について
 - 第3号議案 事務局規程の一部改正について

2 評議員会開催状況 (348,000 円) [P.5]

- (1) 第1回評議員会 平成27年5月27日 (出席23名 欠席4名)
 - 第1号議案 平成26年度事業報告並びに資金収支決算について
- (2) 第2回評議員会 平成27年6月22日 (出席21名 欠席6名)
 - 第1号議案 理事の選任について
 - 第2号議案 監事の選任について
- (3) 第3回評議員会 平成27年7月1日 (出席19名 欠席8名)
 - 第1号議案 会長の選任について
 - 第2号議案 副会長の選任について
 - 第3号議案 常務理事の指名について
 - 第4号議案 会長の職務を代理する順序に関する規程について
 - 第5号議案 専決規程別表第2「会長が指名する副会長の順序」について
- (4) 第4回評議員会 平成27年9月30日 (出席18名 欠席9名)
 - 第1号議案 平成27年度第1回資金収支補正予算について
- (5) 第5回評議員会 平成27年12月25日 (出席22名 欠席5名)
 - 第1号議案 平成27年度第2回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 特定個人情報取扱規程の制定について
- (6) 第6回評議員会 平成28年3月28日 (出席22名 欠席5名)
 - 第1号議案 平成27年度第3回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 平成28年度事業計画及び資金収支予算について
 - 第3号議案 事務局規程の一部改正について

3 監査状況 (48,000 円) [P.5]

- (1) 平成26年度事業・会計監査
平成27年5月13・14日
- (2) 平成27年度社会福祉法人指導監査
平成28年2月2・3・4日

4 苦情の受付及び解決状況（8,000 円）〔P. 5〕

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。（単位：件）

区分	相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	継続中	意見要望	計
高齢者	—	—	—	—	—	1	1
障がい者	1	—	—	—	—	—	1
児童	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	—	—	—	—	2	3
計	2	—	—	—	—	3	5

Ⅱ. 地域福祉活動推進部門

1 民生委員・児童委員活動支援事業（493,500 円）〔P. 15〕

住民の立場に立って相談に応じるとともに援助を行い、広く住民の福祉にかかわり地域福祉活動の推進を行っている市内の民生委員児童委員の活動支援・協力を行った。

（1）地区民生委員児童委員協議会

所管事項についての伝達・依頼とともに業務遂行上必要な意見交換を行うため、市行政部局とともに市内 26 地区の同協議会へ出席した。（毎月 5 日～15 日）

（2）佐賀市民生委員児童委員連絡協議会会長会

市行政部局とともに主要関連事項の説明、又は意見交換を行うため出席した。（毎月 25 日）

2 地域福祉活動計画策定推進事業（741,267 円）〔P. 9〕

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第 3 期計画策定推進委員会を計 5 回開催し、本編・概要版の作成を行った。作成過程においては、策定委員会だけではなく、市民からの意見を直接聞く機会を作り、市民の意見が直接、計画に反映されるようにした。

3 ボランティアセンター事業（2,660,306 円）〔P. 10〕

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助及び地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び斡旋等を行い、市民のボランティア活動への参加を促した。

（1）活動基盤整備事業

①ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

②ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンターの適切な運営を図るため、事業内容などについて検討した。

回	日 程	協議内容
第 1 回	平成 27 年 6 月 10 日 13:30～15:00	・佐賀市ボランティア活動助成金について ・佐賀市ボランティア活動協力校補助金申請について ・ボランティアセンター運営委員会視察研修について
第 2 回	平成 28 年 3 月 24 日 10:00～12:00	・平成 27 年度ボランティアセンター事業報告について ・平成 28 年度ボランティアセンター事業計画について ・ボランティア活動助成金交付基準について（子育てサロン・サークル）

③人材リストへの登録団体募集

「ボランティアを受けたい方」と「登録者（ボランティア）」を結びつける人材バンクとして活用するため、地域の団体をはじめ学校や企業へ紹介できるよう人材リストの登録を行った。

- 登録団体 49 団体
- 個人登録者 14 人

(2) 啓発推進事業

①福祉体験学習指導者派遣事業（780,000円）〔P.10〕

地域・学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助・アイマスク体験・高齢者疑似体験等）が適切な指導により実施されるよう、経験・指導力を備えた指導者（クローバーの会）を派遣した。

種別	講座数（回）	派遣先
アイマスク	74	【学校】神野小、兵庫小、高木瀬小、鍋島小、新栄小、開成小、諸富南小、川上小、春日小、春日北小、南川副小、西川副小、大詫間小、東与賀小、思斉小、成章中、城南中、城西中、金泉中、致遠館中、小中一貫北山校、佐賀北高 【企業・地域団体】佐賀銀行、佐賀地方裁判所、NPO法人セルフ、佐銀ビジネスサービス、佐賀市社協久保田支所 合計 27件
高齢者疑似体験	76	
車椅子体験	65	
講話	1	
合計	216	

(3) 研修事業

①（平成27年度ボランティア研修会）高齢者サロン研修会

研修機会が少ない代表や会計担当者の方以外の“協力者”を対象に研修を開催した。

内容：講義「ボランティアとは～高齢者への接遇を考える～」

講習「サロンで即使えるレクリエーションのわざ」

日時【第1回】平成27年12月7日 参加者数 30サロン 56名

【第2回】平成28年1月13日 参加者数 26サロン 52名

【第3回】平成28年2月23日 参加者数 29サロン 58名

場所：ほほえみ館 きらきら学習室

(4) 災害ボランティアセンター事業

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう体制づくりを図った。

①佐賀市災害ボランティアセンター公開講座の開催

災害ボランティア並びに災害ボランティアセンターがどのような機能を果たすのか広く市民や各種団体に周知するために公開講座を開催した。

日時：平成27年10月10日 10:00～12:00

場所：メートプラザ佐賀

演題：「地域ですすめる防災・減災～被災地の経験を活かして～」

講師：大分県 竹田市社会福祉協議会 水野 匡也 氏

参加者数：206名

②佐賀市災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座

災害ボランティアセンター運営時の人材を養成して、円滑なセンターの運営を目指すためにスタッフの養成講座を開催しボランティアセンター設置模擬体験を行った。

日時：平成27年10月10日 13:00～16:30

場所：ほほえみ館 きらきら学習室

内容：①講義「被災者支援における災害ボランティアセンターの役割と活動支援」

講師：大分県 竹田市社会福祉協議会 水野 匡也 氏

参加者数：30名 登録者数：22名

③災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の開催

日時・場所	内容
平成27年11月8日 スポーツパーク川副 トレーニングハウス	佐賀市社協災害ボランティアセンター運営訓練、支援物資仕分け体験、紐の結び方体験、簡易トイレ、簡易ベッドの組み立て体験

④災害ボランティアセンター研修会への参加

災害ボランティアセンターを立ち上げる際、中心的な役割を担う職員を確保するため、最新の知識と情報を学ぶ機会とするため、研修会に職員が参加した。

日時・会場	研修名	内容
平成27年10月20日 佐賀県社会福祉会館	平成27年度災害ボランティアセンター研修会	社協が災害ボランティアセンターを設置する意味や災害ボランティアセンターにおける各セクションの役割
平成28年1月16日 佐賀市保健福祉会館	災害ボランティアコーディネーター研修	被災者に関わる際のコミュニケーションスキル
平成28年 1月28日～29日 香川県民ホール	平成27年度第3回災害ボランティアセンター運営者研修	災害ボランティアセンター運営の視点や役割、災害ボランティア活動を支援するネットワークと人・もの・資金の調整方法

⑤佐賀市・佐賀県防災士会との連携

平常時より佐賀市や佐賀県防災士会と災害ボランティアセンターや防災などの研修会を協働で取り組んだ。

⑥佐賀県内社会福祉協議会災害時相互応援協定の締結

佐賀県内において災害が発生し、被災した市町の社会福祉協議会独自では十分な災害救援活動が実施できないときに、佐賀県社会福祉協議会及び市町社会福祉協議会が相互に協力して応援を行うための協定を、佐賀県社会福祉協議会、県内19市町村社協と締結した。

(5) ボランティア活動の支援

①ボランティア活動保険の受付

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。

○加入受付 110団体 11個人

○事故申請 8件

②ボランティア活動への助成

福祉活動の振興を図るため、佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

○ボランティア団体 37団体 740,000円

○ボランティア連絡[推進]協議会 7団体 350,000円

③学校ボランティア育成事業

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育むことを目的に、学校における取り組みに対して、助成を行った（市内の小・中・小中一貫校・高校・特別支援学校が対象）。

○助成校 18校（小学校：13校、中学校：3校、小中一貫校：1校、高校：1校）

○助成額 418,904円

(6) その他の支援の事業

①24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車輛等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

○チャリティー募金活動

日 時：平成27年8月22日・23日

場 所：イオンモール佐賀大和・イオンスーパーセンター佐賀

参加者：6団体

○募金箱設置：17団体

②佐賀市ボランティア連絡（推進）協議会・ボランティア団体等との連携

佐賀市ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・研修会・定例会等への協力・連携を行った。

4 小地域ネットワーク活動

(1) 校区社協活動支援事業 (11,153,229 円) [P.15]

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力を行った。

①校区社会福祉協議会運営費・活動費助成 (4,763,436 円) [P.15] 【共募配分 (一部)】

各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。

②小地域ネットワーク活動推進事業費助成 (1,388,396 円) [P.15]

校区社協等、小地域単位組織が地域で活動している様々な組織と協働し、見守り活動やちょこっとボランティア活動の実践及び人や組織を繋ぐための話し合いの場を設け、小地域ネットワーク活動を推進するために助成を行った。

地区名	助成額(円)	地区名	助成額(円)	地区名	助成額(円)
勸興	30,000	巨勢	90,000	蓮池	30,000
循誘	90,000	兵庫	90,000	新栄	90,000
日新	90,000	高木瀬	30,000	若楠	90,000
赤松	90,000	北川副	90,000	富士	29,000
神野	90,000	本庄	90,000		
西与賀	90,000	鍋島	90,000		
嘉瀬	90,000	久保泉	90,000	計	1,379,000

③校区社会福祉協議会会長会及び役員会

各校区社会福祉協議会間の連絡調整のため、会長会を4回(6、9、12、3月)、役員会を6回(6、7、9、12、1、3月)開催し、情報交換を図った。

④校区社会福祉協議会役員研修 (985,397 円) [P.15, 23]

校区社会福祉協議会活動の充実と活性化を図るため、担い手不足に対する人材の発掘や育成、資源活用の課題を踏まえ、小地域ネットワーク活動の取り組み方について研修し、事業の強化・促進を図った。

○校区社会福祉協議会県外研修 (870,195 円) [P.15]

- ・開催日 平成27年9月24日～25日
- ・研修地 阿蘇市社会福祉協議会・公立菊池養生園
- ・内 容 1) やまびこネットワークの仕組みについて
2) 小地域での取り組みの現状
3) 養生伝承館及び有機野菜畑の見学

○地域福祉実践研究セミナー (115,202 円) [P.23] 【共募配分】

- ・開催日 平成27年10月29日～30日
- ・会 場 唐津市民会館大ホール(主会場)、唐津商工会館、大手口センタービル(分科会)
- ・内 容

【10月29日】

- ・基調講演 演 題 「地域生活支援の構想」
講 師 学校法人永原学園西九州大学
副学長・教授 古川 孝順氏
- ・分科会1 テーマ 「つなぐ」・・・地域の資源で人を繋ぐ
- ・分科会2 テーマ 「そだてる」・・・地域の人財育成
- ・分科会3 テーマ 「つくる」・・・地域の支え合いシステムづくり

【10月30日】

- ・分科会報告及び総括講演
講 師 九州大学大学院人間環境学研究院
教 授 高野 和良氏

⑤年末・年始地域福祉交流事業 (4,016,000 円) [P.23] 【歳末配分】

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うこ

とで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	ひとり暮らし高齢者への年賀状、勸興まちの駅ふれあい事業、ふれあい親子しめ縄づくり・餅つき大会、ほんげんぎょう・もぐらうち	158,000
循 誘	循誘ふれあいふるさと祭り、もうすぐ正月祭	217,000
日 新	しめ縄づくりとぶた汁会、日新クリスマスライトファンタジー、独居高齢者へ年賀状発送、高齢者新年食事会	305,000
赤 松	ひとり暮らし高齢者のふれあいの集い、鯨の門まつり、餅つき・しめ縄づくり、ひとり暮らし高齢者への年賀状	319,000
神 野	第7回カブトムシ大会、ひとり暮らし高齢者交流会、ひとり暮らし高齢者料理教室、神野校区ふれあいサロンスタッフ交流会、ひとり暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布、高齢者男性料理教室	266,000
西与賀	西与賀小学校しめ縄づくり教室、ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い	168,000
嘉 瀬	ふれあい異世代交流（どうようひろば）、異世代交流事業指導者講習会（しめ縄づくり）、ふれあい異世代交流事業（ふれあいもちつき）	157,000
巨 勢	巨勢校区社協グラウンドゴルフ大会、餅つき・しめ縄づくり 巨勢小学校昔遊び教室	72,000
兵 庫	友愛・兵庫の集い	183,000
高木瀬	しめ縄づくりと豚汁の会、三世代交流事業、高齢者へのクリスマスプレゼント	420,000
北川副	ふれあいの集い（2回/年）、友愛年賀状事業、もちつき大会 児童と高齢者のしめ縄作り、高齢者スポーツ大会	285,000
本 庄	本庄町民ふれあい「しめ縄づくり・餅つき大会」及びひとり暮らし高齢者へのしめ縄配布	219,000
鍋 島	防災講座、独居高齢者招待バスハイク、地域交流餅つき大会 独居高齢者への年賀状配布、中学生サンタがやってくる、鍋島町区駅伝大会・ふれあいロードレース、防災・減災のための救急救命講座	257,000
金 立	ひとり暮らし高齢者・障がい者とのふれあいの集い	124,000
久保泉	ほんげんぎょう・餅つき大会	68,000
蓮 池	蓮池こども冬まつり（しめ縄作り・石窯あそび・みんなで昼食会）	55,000
新 栄	新栄校区三世代交流グラウンドゴルフ大会、新栄校区年末福祉交流餅つき大会	234,000
若 楠	ふれあいの集い会食会（神野北）、餅つき大会（若宮）、餅つき大会（八丁噺）、ふれあいクリスマス会・餅つき大会（高木団地）、もぐら打ち、餅つき大会（下高木団地）、餅つき大会（県営高木団地）、若楠ほんげんぎょう	284,000
開 成	餅つき、年賀状作成、じいちゃん・ばあちゃんとチビッ子とのふれあいデー、ほんげんぎょう	225,000
合 計		4,016,000

（２）小地域ネットワーク実践研修会の開催（473,303 円）〔P. 15〕《新規》

小地域活動の強化に向け、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、顔の見える関係づくりや人と人との繋がりなど、地域を基盤とした福祉活動をすすめる必要があり、実践事例を交え、これからの日常生活圏域における地域福祉のあり方や新たな取り組みについて校区社協役員・自治会長・民生委員・地域ボランティア等を対象に研修会を実施した。

- ・開 催 日 平成28年3月17日
- ・会 場 アバンセ ホール
- ・参加人数 264名

- ・基調講演 演 題 「みんなで支え合う福祉のまちづくりを目指して
地域福祉は、住民が主役 ～ 」
講 師 ルーテル学院大学学事顧問・教授 市川一宏氏
- ・パネルディスカッション
テーマ 「みんなで支え合う福祉のまちづくり
～地域福祉をすすめるための基盤づくりに向けて～」
コーディネーター ルーテル学院大学学事顧問・教授 市川一宏氏
パネリスト 佐賀市自治会協議会代表、佐賀市民生委員児童委員協議会代表、
佐賀市校区社会福祉協議会代表、北川副校区社会福祉協議会会長、
久保泉校区社会福祉協議会会長

(3) 高齢者サロン事業 (19,438,827 円) [P. 12]

地域住民の自主的な参加と協力のもと、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者等に、地域の施設（地区公民館、集会所等）を活用し、社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行い、併せてサロン設立や運営の指導等を行った。

◎サロン活動状況

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	4	57	939	300,000
循 誘	13	169	2,885	920,000
日 新	10	111	1,838	720,000
赤 松	1	11	160	70,000
神 野	12	129	3,161	950,000
西与賀	7	69	1,482	490,000
嘉 瀬	5	61	1,388	390,000
兵 庫	8	94	1,134	525,105
高木瀬	10	145	4,237	880,000
北川副	14	218	4,218	1,100,000
本 庄	9	127	2,238	690,000
鍋 島	3	31	714	240,000
金 立	10	156	3,040	759,675
久保泉	3	32	729	240,000
蓮 池	6	63	1,092	437,755
新 栄	8	629	21,865	660,000
若 楠	3	35	771	240,000
開 成	9	414	5,618	665,000
諸 富	16	218	6,411	1,370,000
大 和	27	354	6,676	1,940,000
富 士	7	102	1,828	560,000
三 瀬	5	62	926	350,000
川 副	23	254	3,840	1,500,000
東与賀	6	65	1,387	470,000
久保田	11	137	2,194	790,000
合 計	230	3,743	80,771	17,257,535

◎サロン遊具貸出状況

遊具名	保有数	貸出件数
スロットボール	3	7 5
ボーリングゲーム	5	2 8
輪投げ	1 5	5 7
室内ペタンク	4	2 0
ハンディカラオケ	1	7
バグゴ	2	1 0
マグネットダーツ	5	1 4

◎高齢者ふれあいサロン事業説明会

- 開催日 平成28年3月24日
○場 所 メートプラザ 多目的ホール
○参加者 約450人

(4) 在宅高齢者会食会等事業

地域の高齢者が公民館等に一堂に会し、食事等の提供を通じて、地域づくりの見守り活動に向けた「気づき」・「実践」の場となることを目的に地区社会福祉協議会等が行う会食会に対して助成を行った。

①在宅高齢者会食会等助成事業（1,685,548円）〔P.23〕【共募配分】【歳末配分】 **本所**

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	勸興校区社協	1	110	33,000
循 誘	循誘地区民児協	1	126	37,800
日 新	日新校区社協ひまわり会	4	472	141,600
嘉 瀬	せいらんボランティア	4	319	95,700
巨 勢	ボランティア巨勢	6	303	90,900
	巨勢地区民児協	1	63	18,900
本 庄	本庄校区社協	1	134	40,200
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	91	27,300
	高木瀬地区民児協	1	156	46,800
北川副	ボランティア北川副	12	855	256,500
	北川副校区社協	4	926	277,800
鍋 島	ボランティア鍋島	2	283	64,400
金 立	金立校区社協	6	273	81,900
久保泉	いずみボランティア	2	186	43,600
蓮 池	蓮池校区社協	2	88	26,400
新 栄	新栄ボランティア	4	552	143,400
	新栄地区民児協	1	75	22,500
若 楠	ボランティア若楠	2	245	73,500
開 成	開成ボランティアひまわり	4	632	154,600
合 計		59	5,889	1,676,800

②高齢者ふれあい会食会助成事業（446,000円）〔P.23〕【歳末配分】 **大和**

民生委員児童委員協議会を中心に、自治会、食生活改善推進協議会などとの協働により開催される高齢者会食会（対象：70歳以上のひとり暮らし高齢者）に対し、助成を行い地域の特性を活かした住民同士の交流を深めた。

地区名	開催日	会場	参加者数
春日校区	平成27年11月29日	春日コミュニティセンター	99
春日北校区	平成27年11月28日	春日北コミュニティセンター	117
川上校区	平成27年12月23日	川上コミュニティセンター	78
松梅校区	平成28年1月23日	井手公民館	31

③在宅高齢者会食会等助成事業（121,108円）〔P.30〕【共募配分】 **川副**

ボランティアグループ「健康はぐくみ隊」が中心となり、手作りの料理による会食を通じて、悩みや生活課題を関係機関・地域住民と共有することで、高齢者の孤立感解消を図った。（70歳以上のひとり暮らし高齢者、85歳以上の高齢者のみ世帯）

地区名	開催日	会場	参加者数
西川副校区	平成27年9月15日	西川副公民館	28
南川副校区	平成27年10月29日	南川副公民館	32
中川副校区	平成27年11月10日	中川副公民館	85
大詫間校区	平成27年11月25日	大詫間公民館	24

④一人暮らし高齢者見守り事業（47,608 円）〔P.28〕【共募配分（一部）】**富士**

小地域を単位に関係機関の協力体制のもと会食会を開き、福祉への関心を高めると共に高齢者問題への認識を深め、一人暮らし高齢者を見守る体制の構築を図った。

（協力体制） 民生委員児童委員・食生活改善推進協議会富士支部・おたっしや本舗富士
○参加者 延 7 4 人

（5）年末年始ふれあいまつり事業助成（100,000 円）〔P.23〕【歳末配分】**大和**

各小学校の育友会（PTA）が中心となり、住民同士のふれあいや親睦を深めるため実施される「ふれあいまつり」に対し、助成を行い地域での交流を促進した。

行事名	主催	開催日	会場
春日っ子ワクワク祭り 2015	春日小学校 PTA	平成 2 7 年 1 1 月 8 日	春日小学校
創立 20 周年記念フラワーバレーン	春日北小学校 PTA	平成 2 7 年 1 1 月 1 5 日	春日北小学校
土曜夢学級 川上校区ふれあい会食会	川上小学校 PTA	平成 2 7 年 1 2 月 2 3 日	川上コミュニティセンター
平成 27 年度松梅児童館・小・中合同餅つき大会	松梅児童館・小・中合同餅つき大会実行委員会	平成 2 7 年 1 1 月 1 5 日	小中一貫校 松梅校小学部
大和中学校 PTA バザー&模擬店	大和中学校 PTA	平成 2 7 年 1 1 月 2 1 日	大和中学校

（6）見守りネットワーク事業

①小地域見守り活動事業（209,664 円）〔P.23〕【共募配分】

自分の地域で安心して暮らせるように高齢者への見守り及び声かけを行う「ご近所見守り事業」並びに「福祉協力員」「ちょこっとボランティア」等の活動のなかで、安心して活動が行われるようにボランティア活動保険に加入し支援した。

②もろどみ安心ネットワーク（86,456 円）〔P.26〕【共募配分】**諸富**

自分の地域で安心して暮らせるように高齢者への見守り及び声かけを行う「もろどみ安心ネットワーク」の充実のため、研修や実行委員会の開催等、側面から支援した。

③「かわかみ流！勝手に見守りたい」応援事業（90,000 円）〔P.27〕【共募配分】**大和**

自治会・民生委員・おたっしや本舗・まちづくり協議会に加え、JA が加わり、幅広い体制づくりに発展させることができた。

④緊急連絡カードの整備 **富士**

民生委員児童委員の協力を得て、緊急時に備え、ひとり暮らし高齢者世帯の実態を把握するとともに、対象者に緊急連絡カードの配布を行った。

詳細には緊急時に備え、親族や担当民生委員児童委員、自治会長、見守り協力員等の連絡先及びかかりつけ医等を記載し、本人及び関係機関で共有した。

○対象者 1 6 1 人

⑤富士町の福祉を語る会の開催 **富士**

高齢化が進むと予想される富士町の地域力の維持継続のため、各機関の連携協調、ネットワークの確立が必要で、現状と課題を互いに共有し、今後の問題解決とともに連絡を密にして「一人の孤独死も出さない」という目標に向け富士町内の関係団体による懇談会を開催した。

○参加者 3 0 人

（7）高齢者生きがいづくり促進事業（937,864 円）

①地域高齢者生活支援事業（88,744 円）〔P.26〕【共募配分】**諸富**

高齢者の介護予防、健康に対する意識の向上を目的として、血圧測定や健康チェック、軽運動等を実施した。

○開催地区 2 3 地区

○参加者 延 5 0 2 人（男性 1 6 4 名、女性 3 3 8 名）

○事業内容 血圧測定、健康チェック、健康体操（タオル体操）、レクリエーション

②高齢者支援講習会（25,747 円）〔P.21〕 東与賀

脳トレーニングやレクリエーションの講習会を実施し、習得した知識や技術を地域でのサロン事業や会合時に活用していただいた。

- 参加者 延 30 人
- 内 容 脳トレーニング（手遊び・指遊び）、レクリエーション（歌遊び・お手玉遊び）、ロコモ体操等
- 実施回数 3 回

③健康体操教室 東与賀

高齢者や壮年者の寝たきりや認知症予防等を目的に、「NPO法人ふれあい館」とタイアップし、自らの体力に合った運動の紹介、体操、健康指導、栄養指導、健康管理等を行った。

- 参加者 延 29 人
- 内 容 体力測定・健康チェック・ボール体操 他
- 実施回数 5 回

④出てこん場事業（170,376 円）〔P.18〕 富士

コミュニティバス利用者を対象に専門の関係機関及びボランティアとの連携により、介護予防や生きがいを支援した。

- （実施内容） 健康体操〔年 16 回〕
地域交流（ボランティア団体／社協）〔年 16 回〕
健康講座（富士大和温泉病院）〔年 7 回〕
音楽講座（ハーモニカ・大正琴演奏）〔年 16 回〕
栄養講座（食生活改善推進協議会）〔年 8 回〕
人権講話（人権相談員）〔年 8 回〕

- 参加者 延 756 人
- 講師数 延 146 人
- 実施回数 71 回

⑤銭太鼓養成 富士

銭太鼓養成を行ない、積極的に施設訪問や地域のイベントに参加するなど、生きがい健康づくりの推進を図った。

- 実施回数 23 回 延 467 人

⑥ふれあいサークル事業（1,120 円）〔P.19〕 三瀬

心や体に障がいがある方を対象に、ものづくりや会話を通じて生活意欲をとり戻し、とじこもりの解消を図った。

- 実施回数 4 回
- 場 所 三瀬保健センター
- 参加者 延 25 人

⑦地域探訪会（396,045 円）〔P.17, 19, 21, 22〕 諸富 三瀬 東与賀 久保田

（諸富）ひとり暮らし高齢者を対象にバスハイクを実施。外出の機会の提供及び参加者・協力者の親睦を図った。

- 開催日 平成 27 年 11 月 11 日・13 日・18 日（計 3 班）
- 内 容 曳山展示場、マリンセンターおさかな村、唐津うまかもん市場
- 参加者 59 名（高齢者 計 37 名、引率 計 22 名）

（三瀬）外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を提供し、ボランティアの協力により参加者相互のふれあいととじこもり解消を図った。

- 開催日 平成 27 年 6 月 24 日・10 月 28 日・11 月 25 日・平成 28 年 3 月 9 日
- 内 容 嬉野茶業施設・名村造船所伊万里事業所・世界遺産三重津海軍所・五ヶ山ダム 他
- 参加者 延 101 名（高齢者 92 名・引率 9 名）

(東与賀) 外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を与え、相互の親睦を図るとともに、生きがいの充足、心身の健康や自立した生活への意欲の向上を図った。

○開催日 平成27年9月25日・10月2日

○内 容 嘉瀬川ダム見学 他

○参加者 21名

(久保田) 外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を与え、相互の親睦を図るとともに、生きがいの充足、心身の健康や自立した生活への意欲の向上を図ることを目的に実施した。

○開催日 平成27年10月23日・10月30日・11月6日

○内 容 白糸の滝、雷山千如寺大悲王院見学 他

○参加者 71名

⑧楽しい生け花教室 (23,480 円) [P. 19] **三瀬**

地域の方を講師に身近な野の花を利用した教室を実施することで、高齢者が気軽に集うことができる場を提供し、同世代とふれあうことでとじこもり防止を図った。

○実施回数 8回

○参加者 延56名

⑨ふれあい食事教室 (111,065 円) [P. 19] **三瀬**

高齢者が、地元産の食材を使った料理教室に参加することで、身近な食材のよさや調理法を学び、参加者同士の会話を通して閉じこもり防止や生活意欲の向上を図った。

○実施回数 6回

○参加者 延82名

⑩男専科事業 (74,927 円) [P. 19] **三瀬**

男性が元気で長生き出来るように地場食材の調理や加工(蕎麦打ち・わら細工)を学び、生活意欲の向上を図った。

○実施回数 4回

○参加者 延76名

⑪高齢者食生活支援事業 (25,000 円) [P. 31] **東与賀** 【共募配分】

高齢者が食事を楽しめるよう、食の改善を図るとともに生活の質・維持向上のために老人クラブと協働で料理教室を実施した。

○開催日 平成27年9月11日

○参加者 30名

⑫ひだまり布の会事業 (21,360 円) [P. 19] **三瀬**

高齢女性の閉じこもり防止を目的に実施し、持寄り布を利用して物づくりを行い、生活意欲を向上させとじこもりの解消を図った。

○開催日 12回

○参加者 延51名

(8) 世代間交流事業

①地域ふれあい交流事業 (159,056 円) [P. 30] 【共募配分】 **川副**

(川副) 各地区の特性を活かして、高齢者や児童、障がい者や地域住民が、同じ目的・目標に向けてお互いに協力する場を提供し、地域の活力向上のために交流を図った。

地区名	事業名	開催日	会場	参加者数
南川副校区	まごころ祭り	平成27年8月7日	かわそえスポーツパーク	320
大詫間校区	ふれあいウォーキング並びに交流会	平成27年10月29日	大詫間小周辺・大詫間小体育館	120
西川副校区	稲刈り体験研修	平成27年11月4日	西川副小・体験農園	100
中川副校区	ふれあいレクリエーション大会	平成27年11月1日	中川副小グラウンド	248

②地域ふれあい交流事業（19,047 円）〔P. 32〕【共募配分】久保田

（久保田）高齢者と子どもが一緒に楽しめる身近なスポーツを通してふれあい、児童の健全育成と高齢者の健康な心身の養成を図ることで、明るい地域社会づくりを目指し実施した。

開催日	高齢者	障がい者	児童	協力者	住民
平成 27 年 8 月 19 日	35	—	19	—	54
平成 27 年 11 月 10 日	45	—	26	10	81

③ふれあい会食会（118,371 円）〔P. 32〕【共募配分】久保田

（久保田）『ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会』外出の機会が少ない高齢者と園児、児童や育児サークル等との世代間の交流により、在宅高齢者の孤独感の解消、閉じこもり予防や地域コミュニティの向上を図った。

開催日	高齢者	園児・児童	協力者	住民
平成 28 年 1 月 21 日	54	24	33	111

（9）施設・地域交流事業

①施設の夏祭り支援 富士 東与賀

（富士）高齢者や障がい者の施設の利用者と地域住民との交流を深めることを目的に、ボランティアや地域住民の協力のもと夏祭りを実施した。

開催日	場所	参加者（人）
平成 27 年 7 月 25 日	なごみ荘	約 500
平成 27 年 8 月 1 日	富士学園	710

（東与賀）障がい者福祉施設の夏祭りへの参加・協力をを行い、ボランティアを核に施設利用者と地域住民との交流を通して、施設利用者への理解を深めた。

開催日	場所	参加者（人）
平成 27 年 7 月 30 日	めぐみ園	約 700

②障がい児・者との交流会（76,676 円）〔P. 23, 26〕諸富

障がい児及び保護者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい児をもつ親の会と一体となってイベントを開催することで障がい児と地域住民との交流を深めた。

障がい児サロン事業『会食交流（お好み焼き会）』【共募配分】

- 開催日 平成 27 年 7 月 5 日
- 参加者 13 人（障がい児及び保護者、民生委員児童委員、ボランティア 他）
- 内 容 ボランティアによる余興、お好み焼き作り及び会食交流

障がい児サロン事業『クリスマス会』【歳末配分】

- 開催日 平成 27 年 12 月 6 日
- 参加者 16 人（障がい児及び保護者、ボランティア他）
- 内 容 ボランティアによる余興、デコパージュ制作、茶話会

③障がい者施設交流事業（50,000 円）〔P. 23〕【歳末配分】久保田

小規模作業所利用者及び家族と民生委員児童委員や地域住民との親睦と融和を図り、施設と一体となってクリスマス交流会を開催することにより、障がい者への理解を深めるとともに、地域との連携を深めた。

- 開催日 平成 27 年 12 月 18 日
- 対象者 障がい者小規模作業所（久保田サンハウス）利用者・家族
思斉館小学部・中学部特別支援学級児童生徒、民生委員児童委員、
ボランティア、地域住民 等
- 参加者 70 名
- 内 容 利用者による合奏・合唱、児童生徒による劇、クリスマスプレゼント抽選会

（10）歳末地域交流事業

①世代間交流しめ縄づくり（214,270 円）〔P. 23〕【歳末配分】三瀬 川副 久保田

地域の高齢者と児童が、しめ縄づくりをとおして交流を深めるとともに、日本の慣習や風習に込

められた想い・願いを伝え残すことにより、薄れゆく地域コミュニティ（地域力）の向上を図った。併せて、出来上がった「しめ縄」をひとり暮らし高齢者に届けることで、高齢者との心の交流を育んだ。

【三瀬支所】（11,000 円）

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 49 人（児童：35 人、スタッフ・ボランティア：14 人）

【川副支所】（121,940 円）

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民

校区名	児童（人）	地域住民（人）	合計（人）	配布数（個）
南川副校区（11/26）	42	40	82	120
大詫間校区（12/3）	24	40	64	20
西川副校区（12/11）	95	50	145	53
合 計	161	130	291	193

【久保田支所】（81,330 円）

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 16 人

②世代間交流餅つき会（623,792 円）〔P. 23〕【歳末配分】諸富 富士 三瀬 川副

餅つきをとおして、高齢者や児童、地域住民が世代を越えた交流を深めるとともに、障がいをもつ方々と地域住民の交流を図り、地域コミュニティの向上を図った。

【諸富支所】餅つき会及びひとり暮らし高齢者への配布

- 参加者 90 名（ボランティア、民生委員児童委員、老人クラブ、小学生 等）
- 配布数 270 件

【富士支所】餅つき交流訪問事業

- 参加者 76 名（ボランティア、民生委員児童委員、チャレンジ塾生）
- 対象者 70 歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 116 件

【三瀬支所】世代間交流餅つき会及びひとり暮らし高齢者への配布

- 参加者 125 名（小学生、保護者、老人クラブ、地域住民）
- 対象者 75 歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 36 件

【川副支所】世代間交流餅つき会

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民（単位：人）

校区名	児童（利用者）	地域住民	合計
西川副校区（12/4）	281	70	351
中川副校区（12/11）	108	50	158
大詫間校区（12/11）	55	50	105
まごころ授産所（12/24）	35	30	65
南川副校区（1/14）	63	50	113
合 計	542	250	792

③高齢者世帯会食交流会（228,160 円）〔P. 23〕【歳末配分】東与賀

外出の機会が少ない高齢者が一堂に会し、ゲームや余興等の交流を図りながら、健康相談・栄養指導を実施することにより、高齢者の孤独感解消や自立生活の一助とすることを目的に実施した。

- 開催日 平成27年7月31日（世代間）、11月27日
- 対象者 70 歳以上のひとり暮らし高齢者
75 歳以上の高齢者のみ世帯
- 参加者 151 名（高齢者67 名、園児・児童21 名、協力者63 名）
- 内 容 会食交流、ビンゴゲーム、踊り披露他
- 支援者 民生委員児童委員、ボランティアの友、保健師、栄養士、おたっしや本舗

④年末年始高齢者訪問事業（38,429 円）〔P. 23〕【歳末配分】久保田

折紙講座受講者が作成した折紙を、会食会時にプレゼントとして渡すことにより、住民相互の交

流を図る。また、絵手紙講座受講者の協力を得て、出来上がった作品を年賀状として送付し、高齢者と地域との交流を深めた。

折り紙

○対象者 70歳以上の一人暮らし高齢者及び75才以上の高齢者のみの世帯

○配布数 54人

絵手紙

○対象者 80歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯

○配布数 57人

5 福祉教育・啓発活動

(1) 広報活動 (4,496,000 円)

①社協だより“愛・あい”の発行、ホームページの更新 (4,496,000 円) [P.8, 23, 33]

【共募配分 (一部)】

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回(春・夏・秋・新春号)市内全世帯及び事業所に配布した。

また、パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力(夏号まで)により、点訳版を作成し市内の視覚障がい者で希望する方に配布した。

さらに新しい情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

②諸富支所だよりの発行 **諸富**

諸富支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、地域との一体化を図りつつ、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため諸富地区全世帯に回覧した。

また、町内の福祉施設、医療機関、行政、幼稚園・保育園、小・中学校等にも配布した。

(社協事業の紹介や講座等の案内、各種募金の使途明示、その他地域におけるふれあい活動の紹介等)

○発行回数 12回(月1回)

○配布方法 町内回覧

○回覧部数 509部/回

○福祉施設等への配布 19カ所(毎月配布)

(2) 第11回佐賀市社会福祉大会の開催 (484,535 円) [P.8]

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、永年社会福祉に功労のあった者を表彰し、その功績を讃え社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

○開催日 平成28年2月17日

○場 所 佐賀市文化会館 中ホール

○来場者 約750名

○被表彰者 31名

・表彰状 社会福祉団体役職員：9名、民生委員児童委員：4名

ボランティア団体：1団体

・感謝状 福祉事業等寄付者：12名・4団体

福祉事業協力者：1名

○演台 「阿蘇やまびこネットワークの取り組み」

・・・みんなでたすけあい・ささえあう地域づくり・・・

社会福祉法人 阿蘇市社会福祉協議会 福祉活動専門員 木村仁美

福祉活動専門員 倉田昌親

(3) 子ども育成事業

①ふれあいチャレンジ塾【共募配分】**富士** **三瀬**

(富士)「年9回」(77,392 円) [P.28]

「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」「季節を体感する喜び」を子どもと地域の大人(ボランティア支援者)が工夫や挑戦をともに楽しみながら、世代間の交流を深めることを目的に実施した。

- 参加児童 延 1 7 7 人
- 支援団体 ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員女性部、佐賀県レクリエーション協会 他
- 開催数 9 回

(三瀬) (138,348 円) [P. 29]

子ども達が世代を超えた地域の方々とのふれあいを通じて、ふるさとを愛し思いやりの心を持ち、何事にもチャレンジする心を育むことを目的に実施した。

- 参加児童 延 2 5 2 人 (その他スタッフ・ボランティア：6 1 人)
- 支援団体 絵手紙グループ、老人クラブ、民生委員児童委員、母子保健推進員、食生活改善推進協議会
- 開催数 9 回

②一輪車育成 (72,976 円) [P. 18] **富士**

一輪車演技を通じて児童の健全育成及びチームプレーによる連帯感や社会性を養い、また、地域のイベントへの出演や施設訪問により「思いやりの心」を育て、児童のみならず、保護者に福祉施設の特長を知ってもらうために支援を行った。

- 参加児童 延 5 4 4 人
- 開催数 7 2 回

③福祉にふれる 1 日ツアー事業 (36,836 円) [P. 30] 【共募配分】 **川副** 《新規》

小学生を対象に、障がいを持たれた方々が実際に使われている物や、その方々を支援するスキルを持たれている方との交流や見学を通じて、福祉に関心を持ってもらう機会を設けた。

- ・事前研修
 - 期 日 平成 2 7 年 7 月 2 日
 - 参加者数 児童 1 8 人・教諭 2 名
- ・見学研修
 - 期 日 平成 2 7 年 7 月 7 日
 - 参加者数 児童 1 8 名・教諭 2 名
 - 見学先 「佐賀有菌義肢製作所」・「佐賀県聴覚障害者サポートセンター」

(4) 技能ボランティア養成講座 (275,765 円) [P. 20, 21, 22]

- ・絵手紙ボランティア養成講座 (年 6 回) **東与賀**
 - 【東与賀支所】 参加者 延 1 1 7 名
- ・折り紙ボランティア養成講座 (年 4 回) **東与賀** (年 6 回) **久保田**
 - 【東与賀支所】 参加者 延 7 9 名
 - 【久保田支所】 参加者 延 4 5 名 (受講生 1 1 名)
- ・レクリエーション指導者養成講座 (年 6 回) **久保田**
 - 【久保田支所】 参加者 延 1 1 4 名 (受講生 2 4 名)
- ・工芸教室 (年 4 回) **久保田**
 - 【久保田支所】 参加者 延 1 3 名 (受講生 5 名)
- ・被介護者体験研修 **川副**
 - 開催日 平成 2 8 年 3 月 1 7 日
 - 場 所 広江東公民館
 - 参加者 地域住民 1 8 名
 - 内 容 高齢者や身体の不自由な方が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを目的に、介助する際の心構えや声かけの重要性を知る機会を設けた。
- ・大人の福祉体験学習 **久保田**
 - 開催日 平成 2 8 年 2 月 2 日・9 日
 - 対象者 地域住民
 - 参加者 延 1 3 名
 - 内 容 高齢者疑似体験、車いす体験、佐賀県在宅生活サポートセンター見学

(5) 実習生の受け入れ

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行った。

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	7 校 1 4 名	2 3 日 (または1 0 日)	北九州市立大学、久留米大学、九州保健福祉大学、西九州大学、長崎国際大学、大原保育医療福祉専門学校、F・Cフチガミ医療福祉専門学校
介護福祉士	1 校 2 名	1 0 日間	西九州大学
体験学習 (教員免許特例法)	4 校 4 0 名	5 日	佐賀大学、佐賀女子短期大学、西九州大学、福岡国際大学
老人センター見学実習	1 校 2 6 名	1 日	佐賀県立総合看護学院

6 子育て支援事業 (12,343,857 円)

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援する。

諸富支所を基幹型とし、佐賀市全域に出張ひろばを配置し事業推進を図る。

◎地域子育て支援センター事業 (12,082,968 円) [P.13] 【共募配分 (一部)】

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援した。

(1) 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

① つどいの場の提供

親子が気軽に自由に利用できる場として「つどいの広場」を開設した。(単位：人)

広場名	開館日数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	2 4 3	4, 6 4 6	3, 7 5 2	2 6 8
ふれあいう一む (富士)	2 4 5	1, 2 9 2	1, 0 4 5	1 8 4
まほろば広場 (大和)	1 9 9	1, 9 2 4	1, 7 1 6	5 5
みつせスマイルキッズ 広場 (三瀬)	1 2	1 2 2	8 5	7 8
むつごろう広場 (ほほえみ館)	2 6	7 7 9	7 4 2	1 5 4
赤ちゃん広場 (ほほえみ館)	2 3	6 8 4	6 9 4	3 5
よかつこ広場 (東与賀)	1 9	9 7	9 3	1 8

② 子育てサロンの開催

子育てサークルによる「子育てサロン」を行うことにより、子育て親子の交流を図った。(単位：人)

ひろば名	サロン名	実施回数	実施内容	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい 広場 (基幹)	赤ちゃん広場	1 2	乳児対象の発育相談と わらべ唄	1 4 0	1 3 9	8
	かすたねっとサロン	1 2	作物の育成・収穫、季節行事を取り入れたおもちゃづくりや遊び	4 0 8	3 4 2	1 2 0
	にこにこ広場	1 1	アソビマン体操、ふれあい遊び	3 0 5	2 5 6	8 4
	絵本の広場	1 2	絵本の読み聞かせ	1 3 9	1 1 7	3 2
	布おもちゃで遊ぼう	1 1	布遊具を使ったふれあい遊び	1 3 7	1 0 8	5 2

	身近な材料 で遊ぼう	9	紙コップやビニール袋等 を使った工作遊び	103	86	40
	巣立ちの広場	1	巣立つ親子を祝う広場	34	26	4
まほろば 広場 (大和)	まほろばひろば	39	いもほり、運動会、七 夕、りんご狩り、工作、 もちつき、プレイルーム、ハ ンドベルコンサートなど	376	337	24
	音と遊ぼう	12	音楽リズム	195	180	12
	赤ちゃん広場	12	乳幼児の発育相談（保 健師）、わらべ唄	146	140	0
	リズムダンス	12	リズムダンス	103	96	6
	おはなしの部屋	11	絵本の読み聞かせ	70	58	0
	ベビーマッサージ	4	ベビーマッサージ（パ パ編：1回）	61	65	0
	まほろばサロン	3	マジック&アートバルーン、熊丸 みつ子先生サロン、音楽会	99	77	13
ふれあ い る一む (富士)	ふじっこサークル	12	七夕会、温泉遊び、ipad	149	110	31
	ぐんぐん金曜日	36	教室、ハウインづくり、ク リスマス会、キャンドルづくり、	492	367	41
	わらべうたサロン	11	おはなし会、アロマ、運動 でリフレッシュ、タッチア等	83	63	13
	のびのびタイム	12		85	72	11
みつせスマ イルキッズ 広場 (三瀬)	みつせスマイルキッズ	12	バスイク、布おもちゃづ くり、ミニ運動会、リンゴ 狩り、七夕会、クリスマス会、 おやつ作り	122	85	78
よかつこ 広場 (東与賀)	よかつこ広場	14	わらべうたタッチア、幼児 安全法講習会、親子で リズムダンス	127	128	12
なかよし 広場 (久保田)	なかよし広場	12	リズムダンス、ミニ運動会、 乳幼児救急法、クリスマス 会、布おもちゃ遊び、 大型絵本	143	106	24
むつごろう 広場（ほほえみ館）		11	布おもちゃで遊ぼう	263	241	59
		12	童話の読み聞かせ	289	266	89

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施（各つどい場で実施）

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育
児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

①子育てに関する相談

（単位：件）

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族関係	地域関係	来所相談	電話相談	その他	
基幹	134	19	30	15	4	178	2	22	202
富士	23					23			23
大和	41		4	2		47			47

②専門家による子育て相談（年6回）

○相談件数 139件

③子育て講座の開催（4回連続講座を2か所で実施）

（単位：人）

講座名	1回目：基幹	2回目：ほほえみ館	合計
乳幼児の成長	45	36	81
離乳食実習	40	40	80
前向き子育て	36	33	69
乳幼児の安全法	37	33	70
合計	158	142	300

(3) 家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』事業の実施

子育てに不安を抱えながらも相談できずに悩みを抱え、閉じこもりがちな就学前の乳幼児のいる家庭を、要望に応じて一定の研修を終了したボランティアが訪問し、寄り添いながら「傾聴(話を聴く)」「協働(一緒に何かをする)」を通して、親が心の安定や自信を取り戻し、虐待など深刻な問題の発生を未然に防ぐとともに、地域へと踏み出すきっかけづくりを支援するために実施した。

◆講座、研修会の実施

①子育て家庭訪問ボランティア(ホームビジター)養成講座

○開催日 平成27年9月30日～11月6日(8日間、15のカリキュラム)

○場 所 ほほえみ館

平成27年度 新規登録者 10名

平成27年度 現在登録者 30名

②ホームビジターフォローアップ研修会：4回

回数	開催日	内 容	参加人数
1	平成27年4月16日	自分に気づく演習とセルフケア 講師：佐賀女子短大教授 田口香津子	13
2	平成27年7月22日	事例を元に私たちの活動役割を考える 講師：NPO法人ワークライフサポートカウンセラー 家永佐智子	14
3	平成27年10月23日	子育てに必要な傾聴とは 講師：ホムファミリー協会代表 鈴木絹英	12
4	平成28年1月29日	子どもとの関わり方 講師：佐賀女子短大教授 田口香津子	21 (ⅠⅡ期合同)

③親支援プログラム講座の開催

ホームスタート利用者を対象に、子育てのヒントを参加者同士で考え、仲間づくりを行った。

○開催日 平成27年9月8日～10月20日(4回)

○場 所 佐賀市産業振興会館

○参加者 6名(託児8名)

◆訪問活動状況

活動状況		利用者年齢		子ども年齢		子ども数	
利用者数	30	10～19才	2	0～3ヶ月未満	7	1人	13
新規利用者数	23	20～29才	2	3～9ヶ月未満	17	2人	14
訪問回数	221	30～39才	23	9ヶ月～1.5才未満	5	3人	3
OG&HV 延訪問回数	283	40～49才	3	1.5才～2才	11		
登録ビジター数	32			3才～5才	9		
活動ビジター数	17						
登録コーディネーター	3						

申込ルート				申込者の特徴		地域別利用状況			
本人	20人	友人・知人	3	多胎児家庭	2	諸富	7	勸興	2
		チラシ・ポスター	7	多児による 育児疲労	2	鍋島	6	嘉瀬	2
		社協だより他	10	第2子誕生 による育児疲労	10	北川副	6	若楠	1
紹介	10人	保健師	6	精神的育児不安	12	本庄	4	西与賀	1
		行政相談員	1	産後鬱	1	大和	3	高木瀬	1
		子育て支援団体	1	若年母子	2	兵庫	3	神野	1
		幼稚園・保育園	1	家族問題 によるストレス	1	東与賀	2	赤松	1
		その他	1						

(4) 子育てサポーターや子育てサークル等の育成・支援

①子育てサポーターの育成

◆講座、研修会の実施

子育てのための知識や技能を学ぶ「子育て講座や研修」の実施により、子育てサポーターの育成を図るとともに、更なるサポーターの質の向上を図った。

回数	開催日	内容	参加人数
1	平成27年10月29日	子育て支援者としての関わり方 講師：内野産婦人科助産師 内野秋子	36
2	平成27年12月8日	子育て支援センターのあり方 講師：NPO法人子育て相談室理事長 柴田恒美	6
3	平成28年2月18日	赤ちゃんの抱っことおんぶの仕方 講師：佐賀大学看護学科教授 佐藤珠美	21

◆サポーター会の実施

ふれあい広場に関わるサポーターの情報交換会として、毎月1回実施した。(参加者延158名)

②子育てサークル等の育成・支援

子育てサークル等の育成支援を目的に、『サークル代表者会』を実施し、ネットワークの形成を図った。

○《ふれあい広場》サークル会の実施(年2回)(7サークル)

(5) 乳幼児一時預かり事業

①広場での一時預かり

子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。

○46回(登録者数15名)

②出張託児の実施(基幹型)

子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。

○依頼件数 延27件

(6) 子育て支援に関する情報の提供

①広場利用者からの子育てに関する情報や支援センターのイベント等を紹介する情報紙を発行した。

(月1回 Happy mama)情報紙は、来場者へ配布するとともに、市内各関係機関に配布し、併せてホームページに掲載した。

②市内各地で行われている広場や公民館等のサロン活動、依頼があった子育て関係講座やイベント等のチラシやポスター等を設置し、来場者へ情報提供を行った。

③佐賀新聞『ばぶばぶ通信』やマタニティマガジン、ビーフリーへ情報の提供を行った。

④母子保健関連の情報を提供し、必要に応じて保健師等へのつなぎを行った。

(7) 地域の子育て力を高める取組みの実施

①地域サロン活動の支援

市内各地で行われているサロン等に出向き、活動を支援した。

○実施回数 8回(新栄地区:1回、鍋島地区:5回、グリーンピース:2回)

○参加者 延254名(乳幼児162名、保護者92名)

②地域世代間交流事業の実施【出合いの広場】

親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。

○開催日 平成27年5月9日

○内 容 佐賀市社協子育て支援センター事業の紹介

(単位：人)

乳幼児	保護者	ボランティア等	関係機関	合計
1 1 2	9 2	6 6	4 2	3 1 2

◎地域子育て支援事業 (260,889 円) [P. 24, 31, 32] 【共募配分】

- ①ふれあい一む (佐賀市富士支所庁舎内)
- ②よかつこ広場 (佐賀市東与賀保健福祉センター内) (162,000 円)
- ③なかよし広場 (佐賀市久保田保健センター内) (35,782 円)
- ④みつせスマイルキッズ広場 (佐賀市三瀬保健福祉センター内) (63,107 円)
- ⑤むつごろう広場 (佐賀市保健福祉会館内)

7 各種福祉団体支援事業 (2,233,188 円)

(1) 福祉団体等及び社会福祉事業施設助成事業 (2,233,188 円) [P. 15]

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

○運営費助成 (7 団体)

佐賀市遺族連合会、佐賀市原爆被害者の会、佐賀市視覚障害者福祉協会、佐賀市肢体不自由児・者父母の会、佐賀市身体障害者福祉協会連合会、佐賀市母子寡婦福祉連合会、佐賀市老人クラブ連合会

○事業助成 (2 事業)

佐賀心理リハビリテーションキャンプ費 (佐賀県若楠ふたばの会)

佐賀市自治会協議会研修費 (佐賀市自治会協議会)

(2) 福祉バスの利用 [P. 5] ※本所法人運営事業で実施

特別団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体・サロン等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスの運行を行った。

○登録団体 8 2 団体 ○利用件数 1 8 2 件

8 共同募金配分金事業 (19,519,626 円)

(1) 共同募金配分金事業 [P. 23～30]

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金を基に、法人運営費の繰入金とともに共同募金配分事業として事業を行った。(下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です)

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)	頁数
全市	防犯灯の設置助成	3,030,904	2,666,776	25
	在宅高齢者会食会助成事業	1,676,800	836,178	9
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	4,763,436	2,850,000	6
	校区社協役員研修会	115,202	115,202	6
	社協だより“愛あい”の発行	4,496,000	1,152,480	15
	小地域見守り活動事業	209,664	209,664	10
	地域子育て支援センター	12,082,968	413,000	17
諸富	地域高齢者生活支援事業	88,744	88,744	10
	もろどみ安心ネットワーク事業	86,456	86,456	
	障がい児・者との交流会	16,800	16,800	13
大和	小地域見守り活動事業 「かわかみ流！勝手に見守りたい」応援事業	90,000	90,000	10
富士	一人暮らし高齢者見守り事業	47,608	33,608	10
	ふれあいチャレンジ塾	77,392	64,392	15
三瀬	ふれあいチャレンジ塾	138,348	128,268	16
	みつせスマイルキッズ広場	63,107	58,732	18
川副	福祉にふれる 1 日ツアー事業	36,836	36,836	16
	在宅高齢者会食会助成事業	121,108	121,108	9
	地域ふれあい交流事業	159,056	159,056	12

東与賀	高齢者食生活支援事業	25,000	19,000	12
	よかつこ広場	162,000	162,000	18
久保田	ふれあい会食会（世代間交流事業）	118,371	102,171	13
	地域ふれあい交流事業	19,047	19,047	13
	なかよし広場	35,782	35,782	18
合 計			9,465,300	

(2) 平成27年度福祉のまちづくり支援事業

	申請団体	事業名	配分対象 事業総額	配分決定額 (円)
1	新栄校区自治会	新栄校区防犯防災安全マップの作成	169,500	135,000
2	高木瀬校区社会福祉協議会	高木瀬校区子ども見守り事業	403,000	322,000
3	久保泉校区社会福祉協議会	地域内での安心安全を守り高める事業	511,760	400,000
4	川上校区自治会	かわかみ流・勝手に見守りたい活動費	392,000	313,000
5	北川副校区社会福祉協議会	地域福祉推進拡充事業	407,161	185,000
6	赤松校区社会福祉協議会	赤松福祉のまちづくり事業「気ばろう会」	240,000	153,000
7	佐賀市社会福祉協議会	災害ボランティアセンター備品整備事業	332,640	186,700
合 計			2,456,061	1,694,700

(3) 歳末たすけあい配分金事業 [P. 23]

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	頁数
本所	年末・年始地域福祉交流事業（校区社協）	4,016,000	6
	在宅高齢者会食会助成事業	849,370	9
	事務費	78,654	—
諸富	障がい児・者との交流会	59,876	13
	世代間交流餅つき会	130,935	14
大和	地域ふれあいまつり事業助成	100,000	10
	高齢者ふれあい会食会助成事業	446,000	9
富士	餅つき交流訪問事業	171,000	14
三瀬	世代間交流しめ縄作り	11,000	13
	世代間交流餅つき会	35,000	14
川副	世代間交流しめ縄作り	121,940	13
	世代間交流餅つき会	286,857	14
東与賀	高齢者世帯会食交流会	228,160	14
久保田	障がい者施設交流事業	50,000	13
	世代間交流しめ縄作り	81,330	13
	年末年始高齢者訪問事業	38,429	14
合 計		6,704,551	

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門

1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（11,858,168 円）〔P.33〕

「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。※相談や支援計画作成は無料。ただし、契約締結後の支援については利用料が必要。

（1）福祉サービス利用援助事業の実施

①福祉サービスの利用援助サービス

- 福祉サービスに関する情報提供、相談、助言
- 福祉サービスの利用手続援助（申込手続同行・代行、契約締結）
- 利用している福祉サービスに苦情・不満がある場合の苦情解決制度の利用手続支援

②日常的な金銭管理サービス

- 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
- 福祉サービス利用料の支払い代行
- 公共料金・家賃・医療費・日用品等の代金の支払い手続き代行
- 生活費の使い方についてのアドバイス
- 上記に必要な預貯金の出し入れ、解約などの手続き
- 施設や病院が行う金銭管理に対する見守り

③書類等の預かりサービス

- 定期預金の通帳や年金証書・印鑑など書類等の保管
- 銀行の貸金庫を利用したの保管（別途利用料（実費）が必要）

相談、契約・解約件数（平成 28 年 3 月末現在）（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・問合せ	1, 1 1 4	1, 9 7 0	1, 4 5 7	4 4	4, 5 8 5
新規契約	6	5	2	0	1 3
解約	1 3	4	3	0	2 0

契約者数（平成 28 年 3 月末現在）（単位：人）

支所名	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件／年)
本 所	4 0	2 1	2 3	0	8 4	1, 7 5 9
諸 富	1	1	0	0	2	4 9
大 和	9	7	1	0	1 7	2 4 4
富 士	1	0	0	0	1	1 7
三 瀬	0	2	0	0	2	2 3
川 副	8	1	9	0	1 8	2 9 2
東与賀	0	0	1	0	1	5 1
久保田	1	1	2	0	4	9 2
合 計	6 0	3 3	3 6	0	1 2 9	2, 5 2 7
H 2 6 年度末	6 2	3 6	3 4	4	1 3 6	2, 6 1 6

2 法人後見事業（602,000 円）〔P.34〕

成年後見制度に関する問い合わせや相談等も少しずつ増えてきている。受任件数も今後増加することが見込まれる。

- 問い合わせ・相談件数 1 1 9 件
- 受任件数 4 件（後見 2・保佐 2）

3 生活福祉資金貸付事業（2,785,000 円）〔P.42〕

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の居る世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。

○対象世帯

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

○資金種類（５種類）

生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特例つなぎ資金
(単位：件)

	生活福祉資金	臨時特例つなぎ資金	合計
相談等件数	2 4 7	3	2 5 0
貸付件数	6	0	6

○生活福祉資金相談内容内訳 総合 6 6, 福祉 1 2 7, 教育 4 3, 不動産 1 1

○生活福祉資金貸付内訳 福祉費（緊急小口） 4、福祉費（増改費） 1、教育 1

4 福祉資金（小口）貸付事業（4,276,810 円）〔P.43〕

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に 3 万円を上限として貸し付けを行った。

件数（件）	金額（円）
相談・問い合わせ	2 9 6
貸付	1 5 5
償還	1 8 2

※貸付と償還の件数差は、1 件の貸付に対し、最長 6 回までの償還回数となる場合があるため

5 移送サービス事業（359,608 円）〔P.35〕

市内に居住し既存の交通機関の利用が困難な在宅高齢者や身体障がい者（移動制限者）にボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスにより地域生活の継続支援を行った。

	利用 登録者	運転ボランティア 登録者	利用者数 (延)	内 訳（複数利用あり）		
				医療機関	公共機関	社会参加
本所	2 1	1 0	2 3 5	2 3 6	2 5	4 6
大和支所	9	2	3 1	3 3	0	0
富士支所	8	8	4 2	4 2	0	0
三瀬支所	2	2	0	0	0	0
合計	4 0	2 2	3 0 8	3 1 1	2 5	4 6

6 放課後児童クラブ事業（2,985,000 円）〔P.36〕 大和

地区内の小学校に通学し、就労等により放課後に保護者がいない家庭に対し、授業終了後及び長期休業中に遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

○場 所 松梅児童館

○対象者 小学 1 年生～ 6 年生までの児童

○利用日時 月曜日～金曜日 学校開校日 放課後～ 1 8 : 3 0

長期休業日、学校休業日（振替休日） 8 : 0 0 ～ 1 8 : 3 0

土曜日 8 : 0 0 ～ 1 8 : 3 0

○開館日数 2 8 7 日

○利用児童数 延 2, 8 2 6 人（1 日平均 9. 8 人）

7 住民の福祉活動の推進・支援

（１）小災害罹災世帯に対する見舞（140,000 円）〔P.15〕

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	災害件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金（円）
火災	5	7	1 8	1 4 0, 0 0 0
水害	—	—	—	—
合計	5	7	1 8	1 4 0, 0 0 0

（２）児童遊園地整備助成金（634,480 円）〔P.15〕

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
北川副	1	50,500	本 庄	1	48,000
金 立	1	71,200	蓮 池	2	150,700
川 上	1	100,000	西川副	1	51,800
中川副	1	41,400	東与賀	2	114,400
			合 計	10	628,000

(3) 防犯灯の設置助成 (3,030,904 円) [P.23] 【共募配分】

市内地区自治会が地域住民の安全と犯罪の防止、青少年の非行防止のため、自主的に防犯灯の設置・補修を行うために防犯灯設置数に応じ助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸 興	315	68,000	新 栄	498	107,000
循 誘	530	113,000	若 楠	531	116,000
日 新	654	142,000	開 成	654	135,000
赤 松	582	125,000	諸 富	739	157,000
神 野	534	116,000	春 日	465	98,000
西与賀	433	93,000	春日北	411	89,000
嘉 瀬	303	64,000	川 上	485	87,000
巨 勢	298	65,000	松 梅	131	31,000
兵 庫	629	148,000	富 士	734	156,000
高木瀬	763	164,000	三 瀬	196	43,000
北川副	786	171,000	南川副	24	6,000
本 庄	791	170,000	西川副	39	9,000
鍋 島	597	127,000	中川副	7	3,000
金 立	350	75,000	東与賀	564	122,000
久保泉	305	65,000	久保田	662	129,000
蓮 池	79	22,000	合 計	14,089	3,016,000

(4) 備品の貸し出し

突発的な需要や各種団体等が研修などを行う際、車椅子・研修機器等の備品を貸し出した。

また、高齢者や障がい者等が在宅生活の継続を支援するため、ベッド、エアマット、電動ベッド、電動四輪車等を貸し出し、住民福祉の向上に努めた。

(単位：台)

		本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	計
車椅子	保有数	20	6	17	5	2	8	6	9	73
	延利用数	362	12	16	1	3	19	18	14	445
液晶プロジェクター	保有数	1			1				1	3
	延利用数	12			7				1	20
スクリーン	保有数	1		1	1				1	4
	延利用数	8		3	3					14
マイク一式	保有数	1		1					1	3
	延利用数	20		5						25

(5) ごみカレンダー点字版の配布

パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、ごみカレンダーの点訳版を作成し、市内の視覚障がい者で希望する方(26名)に配布した。

(6) 暮らしのトラブル無料法律相談 富士

多重債務や自己破産等生活上に発生する様々な悩みやトラブルで困窮している者に対し、問題解決を図るため、ボランティアの協力により、市民からの相談に応じる体制を整えた。

- 実施回数 毎月第3火曜日 15:00～17:00
- 相談員 司法書士
- 相談件数 2件

(7) 県内高齢者フリー定期券(昭和自動車シルバーパス) 販売 [P.5] 富士 三瀬

社会福祉協議会で販売することにより、住民の利便性を図り、高齢者の外出支援及び社会参加の促

進を図った。

○対象者 70歳以上の高齢者（昭和21年3月31日以前に生まれた方）

○販売数 225枚（富士・三瀬）

8 富士町コミュニティバス運行事業（2,669,264円）〔P.37〕（富士地区高齢者憩いの家事業）

市町村運営有償運送として佐賀市富士地区で運行するコミュニティバスについて、佐賀市からの委託を受け下記の業務を行った。

○業務の内容 コミュニティバス運行に係るバスの運転業務、バスの保管及び整備・点検並びに修繕に係る整備管理業務、ワンコインシルバーパスに係る業務、コミュニティバスの運行管理に係る業務

○対象者 佐賀市富士町に在住する住民及びその親族

○利用料金 100円～300円/回

○運行日時 4回/週（火、水、木、金曜日）・10:00～ ・15:00～

実施日数（日）	延利用者数（人）	1回平均（人）	パス券発行枚数（人）
181	3,142	8.7	80

○富士地区高齢者憩いの家事業

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

実施日数（日）	延利用者数（人）	1日平均（人）
181	1,950	10.8

9 三瀬地域巡回バス運営事業（1,603,500円）〔P.38〕 **三瀬**

住民の交通手段としての送迎と児童の下校時の送りのため、マイクロバスを一日5便運行し、住民福祉サービスの利用促進を図るとともに、児童の安全確保に寄与した。

稼働日数（日）	延利用人数（人）	内訳	
		一般（人）	児童（人）
122	1,910	1,065	845

10 流水浴機器等管理運営事業（1,821,000円）〔P.39〕 **三瀬**

市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。

○受付時間 月曜日、水曜日、金曜日 10:00～15:00

火曜日、木曜日 13:00～16:00

○利用者 延2,594人

11 老人福祉センター等運営事業（79,566,812円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

（1）佐賀市平松老人福祉センター（19,661,888円）〔P.44〕

①平松老人福祉センター事業

○入浴日 月、水、木、金曜日 11:00～15:00

○クラブ活動 民謡、書道、囲碁、生花、カラオケ（2つのクラブあり）民舞、将棋、水墨画、吟詠、謡曲、陶芸、俳句、三味線、自彊術（じきょうじゅつ）、麻雀、脳いき、絵手紙、スマイル歌おう会（童謡）

○年間行事 健康相談 第1木曜日 13:30～15:30

第3月曜日 11:00～13:00

囲碁大会 第2土曜日

将棋大会（奇数月） 第4土曜日

大広間の解放 毎月 月曜日の午後及び木曜日

文化祭 敬老月間における作品展示及び発表会（9月）

○年間の利用者数

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	24,898	401	25,299	
女	14,930	66	14,996	
合計	39,828	467	40,295	137

②佐賀市平松清風大学（開講日：火曜日　ただし8月は休み）

長寿社会の中で高齢者が積極的に学習に取り組み、生活をより充実させ、生きがいを求めて地域社会の活動に順応できる人材を育成するために開設した。

○学生数　117名（1年生 58名　2年生 59名）

○入学式　平成27年4月14日

○教育過程

・教科学習　一般教養、郷土史、健康、園芸

・企画学習　グループ討議、各学年ふれあい授業、自主企画授業

1・2年生交流授業、同期生講師による講義（私に言わせて！）

・学生活動　「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、研修旅行（日帰り・一泊）

○年間講義等数　1年生 37回、2年生 37回

○クラブ活動　グラウンドゴルフ、歩こう会、園芸、絵手紙、パソコン

○卒業式　平成28年3月1日

(2) 佐賀市巨勢老人福祉センター（16,451,850円）〔P.46〕

①巨勢老人福祉センター事業

○入浴日　月、火、木、金曜日　11:00～15:00

○クラブ活動　大正琴、舞踊、書道、フラダンス、囲碁、生花、カラオケ、フォークダンス、吟詠、謡曲、童謡唱歌、写真、編物、水墨画、ハワイアン演奏

○市事業協力　脳いきいき健康塾、さわやかクラブ

○年間行事　健康相談（保健師）

第1火曜日　10:00～12:00

第4金曜日　13:00～15:00

囲碁大会　第3水曜日

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	12,634	408	13,042	
女	12,114	330	12,444	
合計	24,748	738	25,486	87.6

②巨勢シルバーカレッジ（開講日：第1・第3木曜日）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを志すために開設した。

○学生数　54名（1年制）

○入学式　平成27年4月16日

○講義　一般教養、郷土史、健康づくり等　年20回

○修了式　平成28年3月17日

(3) 佐賀市金立いいいの家（13,073,569円）〔P.52〕

①金立いいいの家事業

○入浴日　月、火、木、金曜日　11:00～15:00

○クラブ活動　民謡、生花、書道、大正琴（2クラブ）、フォークダンス、囲碁、歌謡曲、押花、グラウンドゴルフ、パッチワーク、園芸、気功、健康マージャン（3クラブ）、編物、脳いきいき健康塾

○市事業協力　元気アップ教室（市委託事業）

○年間行事　健康相談（保健師）

第2火曜日 10:00～12:00
13:30～15:30
囲碁大会 第2水曜日

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	10,030	205	10,235	
女	9,810	164	9,974	
合計	19,840	369	20,209	69

②金立いいいの家文化講座（開講日：第3金曜日）

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」、「人とのふれあい」、「学ばよろこび」を再発見することを目的に開設した。

- 学生数 43名（1年制）
- 開講式 平成27年4月17日
- 講義 一般教養、健康づくり、園芸、郷土史等 年12回
- 修了式 平成28年3月18日

（4）佐賀市開成老人福祉センター（14,047,118円）[P.48]

①開成老人福祉センター事業

- 入浴日 月～金曜日 11:30～15:00
- クラブ活動 囲碁、将棋、カラオケ
- 市事業協力 元気アップ事業
- 年間行事 健康相談（保健師） 第1月曜日 13:30～15:30
囲碁大会 第2月曜日
カラオケ 毎週土曜日

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	8,026	1	8,027	
女	3,097	5	3,102	
合計	11,123	6	11,129	37.8

○元気アップ事業で開成老人福祉センター集会室利用者数 3,173人(スタッフ含む。)

（5）佐賀市大和老人福祉センター（16,332,387円）[P.50]

①大和老人福祉センター事業

- 入浴日 月～金曜日 11:00～15:00
- 年間行事 健康相談（保健師） 第1水曜日 13:30～15:30

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	5,375	165	5,540	
女	6,585	34	6,619	
合計	11,960	199	12,159	41.2

②温泉バスの運行

既存の公共交通機関等での移動が困難な高齢者が、老人福祉センターを円滑に利用できるよう、地区内全域を巡回する温泉バスを運行し、高齢者の生きがいをづくりや健康増進を支援した。

- 運行日時 月～金曜日（迎え：10:00～ 送り：14:30～）
- 利用料 無料

③まほろば高齢者講座

温泉バス利用者に対し年1回、市内の歴史的な史跡や施設を案内し、理解を深めるとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長を促した。

- 史跡・施設 印鑰神社（尼寺地区）、築山古墳（国分地区）、吉野ヶ里遺跡（吉野ヶ里町）
- 参加者 延 3日間、延 22名

1 2 松梅児童館運営事業 (17,409,044 円) [P.54] 大和

児童の健康を増進し、情緒を豊かにすることを目的に、子どもの発達に応じた遊び場を提供した。また、松梅校区に幼稚園・保育園がないため、就学前の保育を行った。併せて、子育て家庭の支援及び学習支援・指導を行った。

開館日数 (日)	利用者 (人)					
	館児	幼児	小学生	一般	総計	1 日平均
296	6,160	690	1,441	1,483	9,774	33.0

(1) 集団利用 (就学前)

- 保 育 1 歳児から 5 歳児まで。児童数：30 名
- 利用日 月曜日～土曜日 8：30 から 17：00 まで
- 延長保育 月曜日～金曜日 18：30 まで
- 内 容 年齢に応じた保育カリキュラムによる保育
お遊戯、工作、自然散策、体育遊び、お茶教室、季節行事など

(2) 父母の会に関する事業

- 年間行事 歯科教室、苺摘み、歓迎遠足、事故防止講話、七夕会、美化活動
除草作業、バス遠足など

(3) 地域住民との交流事業

小・中学生との冬祭り（餅つき大会）の開催、地域の老人クラブとの交流等を行い、地域の活性化に努めた。

(4) 子育て相談

子育て中の保護者が養育上に悩み等を気軽に相談できるよう日頃からより良い人間関係、雰囲気づくりに努めた。

1 3 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業 (30,489,000 円) [P.56]

配偶者のいない女性やこれに準ずる要件にあたる女性及び監護すべき児童を受け入れて保護するとともに、一日も早く自立できるよう生活全般を指導・支援した。

入所世帯数：13 世帯（34 名）

1 4 佐賀市産業振興会館管理事業 (1,398,578 円) [P.40]

地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大集会室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
136	8,633	114	2,127	146	1,893	84	1,523	15	3,895	495	18,071

1 5 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間		会議室		市民相談室・ビリヤード室		相談室	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
107	1,640	57	1,855	—	—	76	1,612
調理室		集団指導室		機能訓練室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
14	426	109	3,328	57	2,342	420	11,203

1 6 佐賀市久保田総合センター管理事業 (2,777,000 円) [P.41]

文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善センター、高齢者交流施設、保健センター（4 施設）の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

老人福祉 センター		農村環境改善 センター		高齢者 交流施設		保健センター		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
479	5,016	1,472	29,092	140	2,412	113	11,198	2,204	47,718

老人福祉センター付属施設

高齢者 小規模作業所		高齢者ふれあい プラザ		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
58	578	40	979	98	1,557

IV. 在宅福祉サービス部門

1 居宅介護支援事業 (16,726,227 円)

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

(1) 居宅介護支援佐賀事業所 (7,278,928 円) [P.58] **本所**

- 介護支援専門員体制 4 名 (常勤兼務 3 名、非常勤専従 1 名)
- 要介護認定調査 44 件
- ケアプラン管理者数 (平成 28 年 3 月末現在) (単位：人)

要介護度	人数
要介護 (1～5)	50
要支援 (1～2)	3

(2) 居宅介護支援南部事業所 (9,447,299 円) [P.59] **川副**

- 介護支援専門員体制 3 名 (常勤専従 2 名／兼務 1 名)
- 要介護認定調査 36 件
- ケアプラン管理者数 (平成 28 年 3 月末現在) (単位：人)

介護度	人数
要介護 (1～5)	67
要支援 (1～2)	8

2 訪問介護事業 (9,301,355 円) [P.60] **川副**

介護保険法により介護認定を受けた方が、在宅において自立した日常生活を送れるように、「身体介護」「家事援助」「両方の複合型」等のサービスを提供するため、ケアプランに基づいて訪問介護員 (ホームヘルパー) を派遣した。

サービス提供件数 (単位：件)

介護度	サービス提供件数	月平均
要介護 (1～5)	2,231	185.9
要支援 (1～2)	725	60.4

サービスの種類と件数 (単位：件)

種別	サービス提供件数	月平均
身体介護	226	18.8
家事援助	1,401	116.7
複合型	604	50.3

3 通所介護事業 (61,004,716 円)

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供し、利用者の心身機能の維持・向上と社会的孤独感の解消及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

- 利用料金 介護保険の適応相当分、昼食費 400 円／回
- 利用日 月～金曜日 (年末年始を除く。
9：30～16：00 (5 時間以上 7 時間未満))

(1) 開成デイサービスセンター事業 (31,907,060 円) [P.61]

- 行事等 花見 (チューリップ・ふじ・コスモス・梅・桜)、誕生会、敬老会、季節行事 (節分・桃の節句等)

○交流会 ボランティア団体、開成小学校 他

実施日数（日）	延利用者数（人）	1日平均（人）
256	4,506	17.6

(2) デイサービスセンターさくら事業 (29,097,656 円) [P. 63] **大和**

○行事等 花見（桜・チューリップ・紅葉など）、三社参り、運動会、誕生会、季節行事（節分・敬老会など）、レクリエーション、ショッピングなど

○交流会 音楽ボランティア、ボランティア団体 他

実施日数（日）	延利用者数（人）	1日平均（人）
256	3,951	15.4

4 身体障がい者居宅介護支援事業 (380,600 円) [P. 65] **川副**

在宅で生活を営む身体障がい者手帳（重度）の取得者に対して、日常生活に必要なサービスを提供し、自立した生活の継続を支援した。

○契約件数 3 世帯（平成 28 年 3 月末現在）

○支援回数 延 168 回（月平均 14 回）

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(1) 赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。
(単位：円)

種別 本支所	戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	職域 (資材)	職域 その他	合 計
本所	10,605,892	135,012	1,974,721	165,822	1,447,384	275,961	14,604,792
諸富	1,000,600	0	715,000	5,026	284,920	10,758	2,016,304
大和	2,223,195	25,333	146,500	0	304,500	29,193	2,728,721
富士	415,100	0	327,000	19,748	189,050	46,171	997,069
三瀬	142,450	33,636	96,000	5,946	52,800	23,335	354,167
川副	1,463,850	0	483,000	33,155	74,800	53	2,054,858
東与賀	829,500	0	201,878	13,315	156,850	67,597	1,269,140
久保田	713,650	0	238,000	3,415	137,250	4,179	1,096,494
県共募扱	-	-	-	35,140	-	67,016	102,156
合計	17,394,237	193,981	4,182,099	281,567	2,647,554	524,263	25,223,701

(2) 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。
(単位：円)

種別 本支所	戸別募金	その他	合 計
本所	4,514,907	144,516	4,659,423
諸富	307,400	16,102	323,502
大和	576,410	2,920	579,330
富士	118,600	400	119,000
三瀬	40,700	24,135	64,835
川副	415,900	4,109	420,009
東与賀	237,100	3,667	240,767
久保田	205,200	30,223	235,423
合計	6,416,217	226,072	6,642,289

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は佐賀県共同募金会を通じて被災地へ送金した。

- ◎口永良部島新岳噴火（6.2～12.25） 5,852 円
- ◎台風 18 号大雨（9.11～11.30） 255 円

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。

（単位：円）

本支所	社費・寄付金
本所	12,524,558
諸富	1,350,700
大和	2,816,300
富士	593,000
三瀬	203,500
川副	2,060,000
東与賀	1,182,500
久保田	1,029,000
合計	21,759,558

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる蘇生法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

①「習って良かった！災害時に活かせる赤十字救急法講習会」

世界赤十字デー（5月8日）の全国統一キャンペーン事業として、広く赤十字活動を理解していただくことと、一般市民が行う一次救命処置の普及を目的に日赤佐賀県支部主催により講習会を開催した。

- 開催日 平成27年5月12日
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 60人

②講習への講師（指導員）派遣

救急法：3ヶ所、幼児安全法：4ヶ所、健康生活支援講習：1ヶ所

(2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

- 助成金交付 1校区

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

- ◎東日本大震災（～H29.3.31） 206,709 円
- ◎ネパール地震（4.27～7.31） 72,433 円
- ◎口永良部島新岳噴火（6.2～12.25） 34,593 円
- ◎台風 18 号大雨（9.11～11.30） 17,492 円
- ◎台湾地震（2.8～3.15） 19,530 円

(4) 火事等の罹災世帯への援助（事業報告書24ページ（1）小災害罹災世帯に対する見舞 参照）

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生の向上を図る。